第１５回 オオキンケイギク抜き取り作戦報告

日　　時	2024. 05. 25(土)　　※小雨決行
スケジュール	9:30現地集合　9:45～11:45作業　12:00 解散

1．主催：かさま環境を考える会・笠間市（環境政策課）・ごみを考える会

2．協力団体：① あたご四季の会　② イオンリテール(株)・イオン笠間店　③ 茨城県環境政策課　④ 茨城電通
⑤ 茨城トヨタ自動車　⑥ 岩倉緑化　⑦ エチオピア未来の子供　⑧ キャノン化成　⑨ キャノンモールド
⑩ 常陽銀行ボランティア倶楽部　⑪ セキスイハイム工業　⑫ 第一東宝ランド自治会　⑬ 東京航空局東京空港事務所
⑭ トヨタモビリティーパーツ　⑮ ビオトープ天神の里を作る会　⑯ 東日本高速道路水戸管理事務所　⑰ ハタヤ商事
⑱ 星山地区自治会（以上アイウエオ順）⑲ 笠間市新規採用職員＋人事課　⑳ 笠間市資源循環課　㉑賛同市民

3．実施場所： ５月１８日の調査結果により、添付１ オオキンケイギク成育分布図 に示す地域に決定。
① Ａ・Ｃ班　笠間東工業団地
② Ｂ班　稲田石切山脈地区～本戸
③ Ｄ・Ｅ班　笠間市総合公園～寺崎・石井（Ｄ班）　～下市毛団地・上加賀田（Ｅ班）
④ Ｆ班　岩間愛宕山～吉岡～上郷～市野谷（自主活動）
⑤ Ｇ班　第一東宝ランド団地付近（自主活動）
⑥ Ｈ班　星山地区（自主活動）
⑦ Ｉ班　ビオトープ天神の里（自主活動　セイタカアワダチソウ抜取り）
⑧ Ｊ班　友部航空無線通信所内（管理者　自主活動）

4．集合場所： 現地集合、現地解散。 集合場所については詳細地図を当該協力団体に郵送または電送。

5．作業要領と安全注意
① 除草作業に適した服装（帽子・長袖・長ズボン・など　できれば長靴）で参加。
② 班長は道路沿いでの作業では、カラーコーンを配置して交通安全に注意。
③ オオキンケイギク、セイタカアワダチソウとも幼株も含め、できるだけ根まで引き抜くよう作業前に説明。 添付 ビラ参照。
④ 抜き取ったものは４５Ｌポリ袋に入れて密閉し、所定の場所に集積。（ｾｲﾀｶｱﾜﾀﾞﾁｿｳは別袋に）
⑤ 当日抜き取り作業が実施出来ない場所は，後日，本会会員が抜き取る（５月２７日・６月５日予定）。
⑥ 私有地で見つけた場合は，ビラを家人に渡して説明するか留守の場合は郵便ポストに入れる。

B班　稲田石切山脈地区　作戦開始！

各班の活動 状 況と成果

オオキンケイギクについて

作戦開始！

深い草をかき分けて

どんどん上へ進む

急斜面で活躍する若い力

こちらは道路沿いで

A･C 班

場　所：笠間東工業団地　主会場
人　員：３７名　＋　運搬担当　４名
抜取数：オオキンケイギク　４０袋
　　セイタカアワダチソウ 他　１０袋

茨城県県民生活部環境政策課長が作業に参加された。
セイタカアワダチソウやブタナ、ビロウドモウズイカなどの外来種も除去した。
セイタカアワダチソウ他は１昨年３６袋あったので、激減している。

A･C班　成果を前に　作戦参加の皆さん

交通安全に注意してお願いします

大型ダンプに注意しながら

空き地の土手で

稲田周遊コース道標付近

若い力が動きだす

抜き取り後の歩道を清掃

B 班

場　所：石切山脈地区（笠間総合公園に集合）
人　員：53 名
抜取数：石切山脈地区　61 袋
　　本戸　　1 袋　　合計　62 袋

作戦範囲は289号に沿って約1.5㌔。 この道は狭い上に石を積むダンプが盛んに通り、路上駐車ができない。
前日の最終下見のときに、（株）想石さん前の旧道跡地を草刈りして集積場所と駐車スペースを確保した。
また市役所から（株）想石さんにお願いして、車７台分の駐車場を予約してお借りできた。
作業上の注意等の説明は笠間総合公園でおこなった。

B班　成果を前に　作戦参加の皆さん

大分少なくなりました　総合公園

作業上の注意　総合公園

ｾｲﾀｶｱﾜﾀﾞﾁｿｳも　総合公園

ｵｵｷﾝｹｲｷﾞｸ抜取り　総合公園

寺崎で

石井で

D 班　E 班

場　所：Ｄ班　笠間市総合公園～寺崎・石井
　　Ｅ班　笠間市総合公園～下市毛・下加賀田
人　員：Ｄ班　１９名　　Ｅ班　２０名

抜取数：オオキンケイギク　総合公園　　７袋
　　寺崎　　９袋
　　石井　　１袋
　　下市毛　　４袋
　　上加賀田　　１袋
　　合　計　　**２２**袋
　　ｾｲﾀｶｱﾜﾀﾞﾁｿｳ　総合公園　**３９**袋

小里笠間市環境推進部長が作業に参加された。
総合公園のオオキンケイギクはかなり減少した。

D･E班　成果を前に　作戦参加の皆さん

採石場ダンプ街道で　上郷

民家へ続く小道で　上郷

お墓の敷地で　上郷

新規抜き取り地で　市野谷

F班　作戦参加の皆さん

F 班　※自主活動

場　所：愛宕山～吉岡 ～上郷～市野谷
人　員：１５名　あたご四季の会
抜取数：１７袋

愛宕山･吉岡	0.5 袋
上郷	7.5 袋
市野谷	9　袋
合　計	**１７**　袋

岩間地区のほぼ全域をカバーする活動を継続している。
民家の敷地にあるものも家人に断って、抜いている。

愛宕山･吉岡ではほぼ無くなってきた。
市野谷で新規地（民地）で抜取りを実施した。

G班　作戦参加の皆さん

G 班　※自主活動

場　所：岩間　第一東宝ランド自治会内
人　員：6 名　自治会有志
抜取数：4 袋

道路の法面で抜き取り

墓地敷地のｵｵｷﾝｹｲｷﾞｸ

H班　成果を前に　作戦参加の皆さん

H 班　※自主活動

場　所：星山地区自治会
人　員：５名　自治会有志
抜取数：２袋

県道１０９号線の法面、自治会公民館敷地や墓地などで抜き取り実施した。

草原に分け入って

抜き取ったものは一輪車に積み込む

I班　成果を前に　作戦参加の皆さん

I 班　※自主活動
セイタカアワダチソウの駆除

場　所：ビオトープ天神の里
人　員：１１名　天神の里を作る会
抜取数：一輪車山盛り５台分（45L袋２５袋と換算）

６月２日に実施。
一昨年からこの時期にセイタカアワダチソウの抜き取りを実施している。
抜き取ったものは農園用の堆肥として活用する。

抜き取り前の状況

広大な敷地内で奮闘

Ｊ班　成果を前に　作戦参加の皆さん

Ｊ班　※自主活動

場　所：友部航空無線通信所
人　員：１０名　管理者
抜取数：４７袋

５月３０日に実施。

追加抜き取り

北関東道の側道で　住吉

笠間中グランド入口付近

成果を前に　住吉

場　所：南小泉～住吉～友部JCT　５月27･30日
人　員：環境を考える会６名　（不法投棄監視）
抜取数：７袋

成果を前に　笠間中学

場　所：笠間中学校～八反山地区　６月５日
人　員：５名　環境を考える会４名　市職員　１名
抜取数：5袋

協力団体と参加者数・成果

45ﾘｯﾄﾙ袋

班名と実施場所	協　力　団　体	班人員計	抜取数 オオキンケイギク	抜取数 セイタカアワダチ
A・C班 笠間東工業団地 代表：吉武	県環境政策課(2名)，茨城電通（1名） 茨城トヨタ（5名），岩倉緑化（1名） エチオピア未来の子供（5名） ハタヤ商事（1名），トヨタモビリティーパーツ（3名） キャノンモールド（4名），賛同市民（1名） 環境を考える会(3名)　C班：ごみを考える会(8名) 笠間市環境政策課(3名)，笠間市資源循環課（4名）	41	40	10
B班 石切山脈地区 代表：増渕	イオン笠間店（4名） 東日本高速道路関東支社（13名） 笠間市新規採用職員（24名）＋笠間市人事課（4名） 賛同市民(2名) 環境を考える会(4名) 環境政策課（2名）	53 本戸	61 1	
D班 笠間市総合公園～ 寺崎・石井 代表：岸	キヤノン化成（16名） 環境を考える会(1名) 笠間市環境推進部長（1） 環境政策課（1名）	19 寺崎 石井	7 9 1	39
E班 笠間市総合公園～ 下市毛・上加賀田	常陽銀行（10），セキスイハイム（6名） 環境を考える会（2） 笠間市環境政策 課(2名)	20 下市毛 上加賀田	4 1	
F班 上郷～吉岡 代表：大山	あたご四季の会(15名) ※自主活動	15 上郷 市野谷	8 9	
G班 第一東宝ﾗﾝﾄﾞ団地	第一東宝ﾗﾝﾄﾞ団地の有志（6名） ※自主活動	6	4	
H班 星山地区 代表：細田	星山地区住人　(5名) ※自主活動	5	2	
I班 天神の里 代表：橋本	天神里を作る会(11名) セイタカアワダチソウ抜取り　堆肥つくりに利用 ※自主活動　6月2日	11		一輪車５台分 25
J班 友部航空無線通信所	管理者（10名） 敷地内のオオキンケイギク抜取り ※自主活動　5月30日	10	47	
合　計	主催団体数　協力団体数 3　20	名 180	袋 194	袋 74
			kg 780	kg 280

註1.参加団体数は主催3、協力20団体になります（賛同市民は団体としてカウントせず）。
註2.市役所からの協力団体は新採職員+人事課で1団体、資源循環課（4名）で 1団体とする。
註3.主催団体は環境を考える会 、ごみを考える会、笠間市環境推進部長と環境政策課。

追加抜き取り（オオキンケイギクのみ）

日時と実施場所	協　力　団　体	人員計	45ﾘｯﾄﾙ袋	kg
5月27日・30日 南小泉～住吉～友部JCT	環境を考える会(不法投棄監視員６名)	6	7	28
6月5日 八反山～笠間～石井	環境を考える会(4名) 笠間市環境政策課(1名)	5	5	20
	合　計	名 11	袋 12	kg 48

令和6年(第 15 回)の感想・反省と課題

①　笠間市及びごみを考える会も主催者となり，茨城県県民生活部環境政策課及び笠間市環境推進部の参加を頂き，市環境政策課全職員及び資源循環課の協力と市新採職員の研修の場として定着し，笠間市をあげての行事として成長しているの喜ばしい。

②　笠間市長より，オオキンケイギク防除に関する「従事者証」が交付されているので，その後の活動がやりやすくなった（１年間有効なので，公民館祭りの際などにも現物を提示可能となった）。

③　深澤茨城県環境政策課課長・小里笠間市環境推進部部長（山口市長は急用で開会式前に戻る）など，県及び市が真剣に取り組んでいるという姿勢が参加者に反映されていると考える。

④　新型コロナウイルス禍がほぼ治まったためか，協力団体・参加者が予想以上に多く，昨年度にご協力頂いたほとんどの団体様が参加して頂き，参加団体・地区は２０団体と一般市民３名，合計１８０名で実施して１９４袋（＋セイタカアワダチソウ７４袋）収穫しました（これには，後日行われた，友部航空無線通信所での抜き取り（１０名：４７袋）及び天神の里での抜き取り（オオキンケイギクは生育が無く，セイタカアワダチソウのみ；１１名：２５袋を含む）。

第一回目（2010 年）以降の参加団体数（参加者数）及び収穫袋数は添付資料２に示している。これにより，参加者数はコロナ禍などの要因で一旦減少したが，今回は最高になったことが分かる。

収穫袋数は必ずしも減少傾向にあるわけではない（年によって増減がある）が，それは，毎年、新たな生育地が見つかったり，新たな参加団体・地域が加わった結果と考えられる。

⑤　昨年（第 14 回）の１８８袋が今年（第 15 回）は１９４袋に増えているが，それを重量で見ると，第 14 回の９００Kg が今回は７８０Kg に減少している（例えば，Ａ班では，生育量が減少しているのに対して，作業者が増えているため，各自の収穫量は袋一杯になっていない袋が多かった）。

このことから，抜取りを続けている場所は明らかに減少していると言える。

⑥　南小泉～友部ジャンクション（高速道の側道）では，南小泉，友部ジャンクションとも激減し，生育が殆ど見られなくなったので，当日の作業対象地から外して（前回までのＣ班：ごみを考える会の作業場所が無くなり，Ａ班と合流した）。

⑦　笠間中学校運動場や笠間中学校周辺の私有地，石切山脈地区（稲田）の広場の生育地の一部が 25 日前に刈り払われていた。また，柿橋団地内公園の生育地は「既に除草予定」になっていることが分かるなど，周辺住民の関心が高くなっているのを感じた。

⑧　石切山脈地区（稲田）の株式会社想石が，敷地内の駐車場を快く貸して下さった。また，想石近くの女性が新たに一般参加して下さった。また，想石前で，作業前日に準備をしていると，老人が出てきて「ご苦労さん」と声をかけて下さり，嬉しくなりました。

⑨　前年から，東京航空局東京空港事務所が友部航空無線通信所内の除草をして下さるようになった。このように，〝特定外来植物オオキンケイギク〟抜き取りの理解の広がりを実感している。

⑩　一方で，空き家と思われる敷地内に生育している所が何カ所かあること及び隣接市町に繁茂している所もあることから，〝特定外来生物〟の駆除の必要性を県全体に周知することが必要と考える。

⑪　昨年，「隣家に植えられているが，直接には忠告出来ない」との相談を受けた。「市に連絡頂けると，私達が対応可能です」と答えたが，市への連絡は無かった。数年前から，市の区長会総会で本会作成の「お花を愛するみなさまへ」を各区に配布して頂いているが，各戸には回覧されていない所もあるようである。市と連携して生育している地区・家や空き家での駆除方法を再考する必要がある。

⑫　抜き取り作業後の反省会で，「オオキンケイギクは減少していて，はこんなに多くの人の参加は必要ないのではないか？」とか，「〝オオキンケイギク抜き取り〟と言って，セイタカアワダチソウを抜いてもらうのは心苦しい」などの意見が出た。

　セイタカアワダチソウとかブタナは〝要注意外来生物〟で，現在，笠間市内で繁茂しているため，その在来種に対する危険性はオオキンケイギクと同等と考えられるので抜き取りを続けたいが，参加者への明確な説明が必要である。

　なお，昨年よりセイタカアワダチソウは公園などを中心に抜き取ることにしたが，抜き取りをしている場所では減少している。

⑬　自主活動として，今年も第一東宝ランドや星山地区，友部航空通信所，ビオトープ天神の里が加わって下さったが，この傾向がさらに広がることを期待する。

⑭　四季の会は岩間地区全域に目を光らせ，活動されているのは素晴らしい。

⑮　この「オオキンケイギク抜き取り作戦」の主な目的は（１）オオキンケイギクを除去する。（２）市民にオオキンケイギクの抜き取りの意味を周知する。（３）自分の住む地域のオオキンケイギクの存在を知ってもらう。（４）各自が身の回りの特定外来生物を自ら除去することにある。

　道半ばであるが，成果は出つつあると考えている。しかし，手を抜くと元の状態に戻る可能性があるので，来年度も続けたいと考えている。

⑯　友部第二小学校に隣接する空き地（県有地）では，オオキンケイギクの結実前（５月下旬～６月中旬）に抜き取り、秋にも草刈りを続けたので，５～６年で効果が現れ，現在は殆ど見られない。

⑰　準備日数を十分とるために，各団体・報道機関への連絡を早めることと，市内の生育状況調査と抜き取り実施日との間を２週間はとるようにしたい。

⑱　川畔を中心に特定外来生物のアレチウリが繁茂している。足場が悪いためこの「オオキンケイギク抜き取り作戦」のような方法は無理であるが，早急に対策を取る必要がある。

⑲　新聞社など報道機関の反応が弱いようなので，広報の手段を考える必要がある。

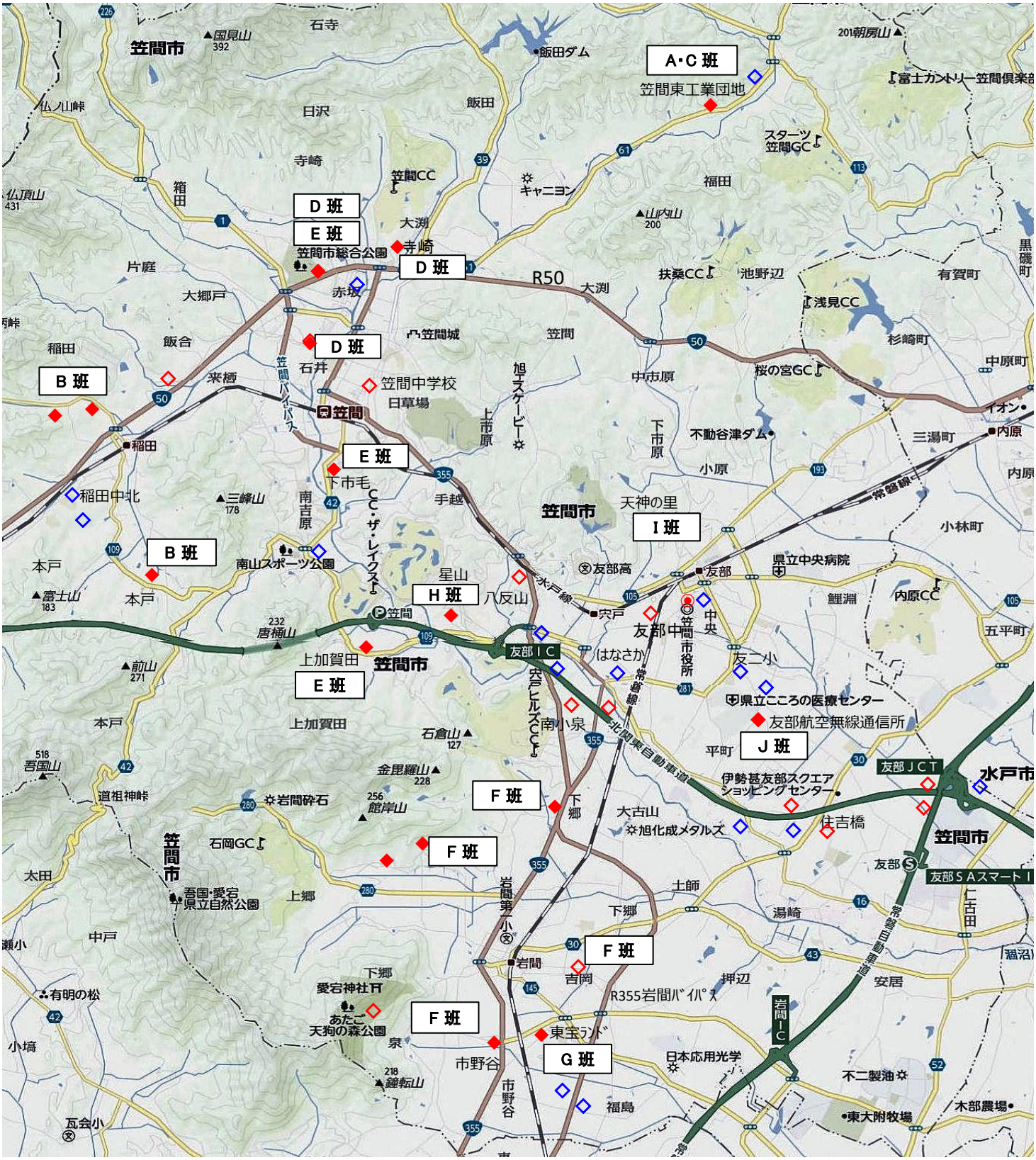
※　参加者数・抜き取り袋数などの数字は「報告書添付資料」を参照。

添付１

オオキンケイギク生育分布
笠間市全図

◆ ：2024年抜き取り作戦地点
◇ ：ｵｵｷﾝｹｲｷﾞｸ 点在
◇ ：生育がなくなった地点

2024.06.06更新



註1.A班はC班と合同で笠間東工業団地を担当する。 ｾｲﾀｶｱﾜﾀﾞﾁｿｳ等も抜きとる。

註2.D班はE班と合同で笠間総合公園を担当する。 ｾｲﾀｶｱﾜﾀﾞﾁｿｳも抜きとる。

　　余力が出たらD班は寺崎、石井　E班は下市毛、上加賀田をまわる。

註3.B班は余力が出たら、本戸を回わる。

註4.点在地は、後日　環境を考える会員等で追加抜き取りを実施する。

添付２

オオキンケイギク抜き取り作戦の推移

2024.06.06 更新

抜取り量（45㍑袋数）

作業場所など		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
抜き取り作戦の成果	南友部（北山公園道）	12														
	友部二小隣接地		55	59	19	38	10	3								
	友部航空無線通信所北側・内部（2023から）					4	11	5							30	47
	友部ＪＣＴ周辺		29	21	10	10	4	29	33	19	15	6	13		3	
	住吉（北関東道沿い）（しらゆり団地）		10	10	15		9	2				2	4	5	4	
	橋爪はなさか下				25	38	8	6	3	1	1		1			
	南小泉-下加賀田（北関東道沿い）		13		16	42	14	14	13	10	5	4	6	6	5	
	上加賀田（県道109号沿い）		5	36			7	2	4	8	3		1	1	3	1
	南吉原（県道42号沿い）			25	8	8	3	2	2	1						
	下市毛（県道42号沿い）						22	9	6	3	4	6	3	1	3	4
	笠間市総合運動公園				6	8	36	32	17		14	21	15	3	17	7
	稲田中学校北側			23	35	26	14			8						
	本戸（県道109号沿い）						10	37	29	15	17	5	13	9	3	1
	愛宕山登山道路・上郷地区　ほか				21		10	15	22	12	1	20	17	11	11	17
	国道355号 巴川付近							18	20	14	20		3	2		
	東宝ランド団地（団地自治会）							14	5	8	4	7		4	5	4
	笠間東工業団地								59	81	63	76	49	47	42	40
	笠間地区宅地用空き地 ほか　寺崎・石井									12	4				6	10
	星山地区											4	2	3	3	2
	冨谷稲田線(289号）沿い											18	24	24	53	61
	市立病院跡地・その他												40	2		
	合　　計（袋数）	12	112	174	155	174	158	188	213	192	151	169	191	118	188	194
作戦規模	参加者数（名）	6	70	73	75	74	100	143	151	142	131	102	124	132	157	180
	作業班数（班）	1	5	5	6	6	7	7	8	8	8	8	7	8	10	9
	主催・協力団体数（個人参加は不含）	2	3	4	6	7	10	13	16	17	19	21	19	23	25	23
追加活動	取り残した場所や、市民から情報があった場所を少人数で巡回抜き取りを実施（5月末～6月上旬）	3			10		5	17	22	18	13	16	3	3	7	7
									14	8	24	11	11	16		5
														7		
	合　　計（袋数）	3	0	0	10	0	5	17	36	26	37	27	14	26	7	12
年度別抜き取り総合計（袋数）		15	112	174	165	174	163	205	249	218	188	196	205	144	195	206
														97	51	74

※　2022よりｾｲﾀｶｱﾜﾀﾁｿｳ抜取り

広報かさま【お知らせ版】令和6年4月18日 第6-2号

③「特定外来生物 オオキンケイギク抜き取り作戦」を実施します

問・申　環境政策課（内線 125）

オオキンケイギクは、道路沿いなどで黄色い花を咲かせ、年々その量や生育地を拡大しています。この花は繁殖力が非常に強く、在来種に影響を及ぼすことから「特定外来生物」に指定され、植えたり移動したりすることが禁止されています。

市では、「かさま環境を考える会」などの市民団体と協働で、今年もオオキンケイギクの抜き取り作業を行います。協力いただける方は、事前にお申し込みください。作業場所などは後日通知します。

また、道路沿いなどでオオキンケイギクを見かけたら情報提供をお願いします。

※重点対策外来種セイタカアワダチソウの抜き取りも行います。

日時　5月25日（土）午前9時～正午

申込方法　電話またはいばらき電子申請・届出サービス（右の二次元コード）でお申し込みください。いばらき電子申請・届出サービスで申し込みされた方には、申込時のメールアドレスに集合場所等をご連絡します。

申込期限　5月10日（金）

申し込みはこちら

オオキンケイギクの特徴

多年生草本、高さ30～70センチメートル、花期5～7月頃、頭状花（直径5～7センチメートル）、黄橙色

処理するときの注意

根から引き抜き、種の飛散がないように、ビニール袋などに密閉して入れ枯死させた後、燃えるごみとして処分してください。

※特定外来生物に関する法律、規制内容など詳しくは環境省ホームページ（右の二次元コード）をご覧ください。

庭などに生えていたら駆除してください。

環境省ホームページ

茨城新聞の紹介記事

2024.06.02付

オオキンケイギク駆除

笠間　特定外来、市民ら160人

市民ら約160人が参加して行われたオオキンケイギクの抜き取り作戦＝笠間市福田

黄色い花がきれいだが、繁殖力が強過ぎるため、在来植物の生態系を破壊してしまうとして、2006年以来「特定外来生物」に指定されているオオキンケイギクを根こそぎ駆除する「抜き取り作戦」が5月25日、笠間市内10カ所で一斉に繰り広げられ、約160人の市民らが参加した。

「作戦」は、市民グループのかさま環境を考える会とごみを考える会、市の3者が共催。企業・団体に参加を募り、開花期の5月下旬ごろに行われ、今年で15回目になった。

運動のリーダーであるかさま環境を考える会の吉武和治郎会長（81）が代表となった笠間東工業団地（同市福田）の会場では、7事業所・団体などから30人超が参加し、黄色い花がたくさん咲いている小高い丘に分け入り、花の株を根っこから抜き取った。

吉武会長は「密植して生えるので、在来種が負けてしまう。種が風に乗って運ばれる前に抜かなくてはいけない。ここ（の場所は）5年で半分になった。あと数年でなくなるだろう」と見通しを話した。

（佐川友一）

添付４

お花を愛するみなさま へ

かさま環境を考える会

写真のような花が、最近、花壇や庭の片隅などに紛れ込んでいないでしょうか？

このキレイな花が、実は法律により、栽培が禁じられ、駆除すべきとされている特定外来生物「オオキンケイギク」なのです。

見つけた場合は駆除にご協力をお願いします。

オオキンケイギクとは

北米原産のキク科の多年草で、明治期に、観賞用として日本に 導入 され、道路の法面の緑化などにも使われてきました。５月～ 7月には、黄色のきれいな花をつけます。

しかし、繁殖力が非常に強く、種子を風の力で遠くまで飛ばして広範囲 に野生化し、日本在来の植物を 圧迫する恐れがあると考えられるよう になりました。

平成１７年に施行された法律「外来生物法」により、平成１８年に「特定外来生物」に指定され、栽培、販売、保管、移動などが、禁じられており、「駆除していく べきもの」と さ れています。

駆 除 方 法

① 種子が飛散しないよう注意して、根を残さず引き抜く。

② ビニール袋などに密閉して、燃えるごみとして 処分する。

※ オオキンケイギクが生えている場所を見つけた場合は,
市役所環境政策課にご連絡ください。

［問合せ］ 笠間市環境政策課
TEL 0296-77-1101（内線125）

セイタカアワダチソウ

5月頃の草姿

満開の花詳細　10月中旬

群生して花をつける　10月中旬

キク科の多年草で草丈が3㍍にもなり、密生して日本の在来種を圧迫する。
種子及び根茎で増え、根からアレロパシーという物質を出して他の植物の成長を抑えるという特技を持っている強敵。「生態系被害防止重点対策種」とされています。

駆除方法

① 根が地中を這いまわっているので、できるだけ残さず引き抜く。

② 秋に抜取る場合は花後の種子が飛散しないよう注意する。

③ 抜き取ったものはその場で腐らせるか、乾燥後燃えるごみで処分する。